城崎・港地域 小中学校再編に関する
地区説明会アンケート 集計結果報告

1 アンケートの概要

調査名	城崎・港地域 小中学校再編に関する地区説明会アンケート
集計方法	単一回答は選択者数、複数回答（設問 3～5）は各選択肢の選択者数を有効回答数で除した割合（回答者ベース）。複数回答の割合は合計が 100％を超える。
備考	設問 6 は論点ごとに意見の要点を集約

2 結果の概要

- 説明会の内容について、回答者全員が「大変よく理解できた」（75.0％）または「大体理解できた」（25.0％）と回答した。
- 4 校を同時期（2029～2031 年度を目安）に再編し、小中一貫校も視野に入れる方針について、「妥当」「どちらかといえば妥当」が 87.5％、「まだ判断できない」が 12.5％で、「不安や疑問がある」の回答はなかった。
- 小中一貫教育への期待は、「異学年交流を通じた思いやりや協調性の育成」（62.5％）が最も多く、次いで「中 1 ギャップなどの不安解消」（50.0％）であった。
- 不安・懸念は、「通学距離・時間の延長、スクールバス運行・通学路の安全確保」（75.0％）が最も多く、次いで「地域のつながりや防災機能への影響、跡地の活用」（50.0％）であった。
- 行政・学校への要望は、「スクールバスの運行ルート設定や登下校時の安全対策」（50.0％）が最も多く、次いで「丁寧で継続的な情報提供や意見交換の機会」「地域・保護者と決める場の設置」「こども園との連携・跡地活用の協議」（各 37.5％）であった。

3 回答者の属性

お子様の年齢・学年（複数選択可）

区分	割合	分布
乳幼児・認定こども園	12.5%	■
小学校（1〜6 年生）	37.5%	■■■
中学校（中 1〜中 3）	50.0%	■■■■
その他（地域住民、卒園・卒業生の保護者など）	37.5%	■■■

※複数選択可のため、割合の合計は 100%を超える。

お住まいの地区

地区	割合	分布
港地区	62.5%	■■■■■
城崎地区	37.5%	■■■

4 設問 1　説明会の理解度

本日の説明会を聞いて、小中学校再編の内容について、どの程度理解できましたか。（単一選択）

選択肢	割合	分布
大変よく理解できた	75.0%	■■■■■■
大体理解できた	25.0%	■■
あまり理解できなかった	0.0%	
まったく理解できなかった	0.0%	

5 設問 2　再編方針についての受け止め

市は、4 校について小学校と中学校を同じ時期（2029～2031 年度を目安）に再編し、小中一貫校も視野に入れて検討する方針としています。この方針についてどのように感じましたか。（単一選択）

選択肢	割合	分布
妥当だと思う	50.0%	■■■■■
どちらかといえば妥当だと思う	37.5%	■■■■
どちらかといえば不安や疑問がある	0.0%	
不安や疑問が大きい	0.0%	
まだ判断できない	12.5%	■

6 設問 3　小中一貫教育に期待すること

小・中学校が同じ施設で学ぶこと（小中一貫教育）について、期待することは何ですか。（2 つまで）

選択肢	割合	分布
異学年交流を通じた、思いやりや協調性の育成	62.5%	■■■■■■
小学校から中学校への進学（中 1 ギャップなど）の不安解消	50.0%	■■■■■
小・中の連携による、9 年間を見据えた手厚い教育や指導	37.5%	■■■■
城崎・港地域の歴史・文化・自然・観光などを生かした特色ある学び	25.0%	■■■
学校の規模が大きくなることによる、多様な考えに触れる機会や、学校行事・部活動の選択肢の広がり	12.5%	■
特にない	0.0%	

※複数回答。割合は有効回答数に対する値。

7 設問 4　再編にあたっての不安・懸念

学校再編にあたり、不安や懸念に感じることは何ですか。(3 つまで)

選択肢	割合	分布
通学距離・通学時間の延長や、スクールバス運行・通学路の安全確保	75.0%	
学校がなくなることによる、地域のつながりや防災機能への影響、跡地の活用	50.0%	
放課後児童クラブや、こども園との連携・接続	37.5%	
部活動や学校行事のあり方(運営方法、地域行事との関わりなど)	37.5%	
再編・開校までのスケジュールや、準備期間の短さ	25.0%	
小 1 から中 3 までが同じ施設で過ごすことによる、安全面・生活面への影響	12.5%	
特にない	12.5%	

※複数回答。割合は有効回答数に対する値。

8 設問 5　行政や学校に力を入れてほしい対応

円滑な再編に向けて、行政や学校に特に力を入れてほしい対応は何ですか。(2 つまで)

選択肢	割合	分布
スクールバスの運行ルート設定や、登下校時の安全対策の徹底	50.0%	
今後の検討状況についての、丁寧で継続的な情報提供や意見交換の機会	37.5%	
学校名・校章・制服・教育課程などを、地域や保護者と一緒に決める場の設置	37.5%	
放課後児童クラブ・こども園との連携や、跡地の活用に関する地域との協議	37.5%	
再編前の交流事業(異なる学校の子ども同士や保護者同士の交流)	12.5%	
新しい環境に馴染めない子どものための、心のケア(カウンセラーの配置など)	12.5%	

※複数回答。割合は有効回答数に対する値。

9 設問 6　ご意見・ご質問（自由記述）

■ 再編の時期・スケジュール

- 早期の再編を期待しており、説明会やアンケートを随時実施してほしい。
- 学校の位置が決まらないまま、スケジュールが延びてしまうことを危惧している。
- 2029 年に統合する場合のスケジュール・計画について、暫定でも示してほしい。
- 過去の説明会での「前倒しも努力する」との発言について、実際には「計画上の時期はあくまで目安で、地域から強い要望があれば早めの検討は可能」という趣旨の説明だったと受け止めている（静修小学校は地区の要望で前倒し統合した例がある）。

■ 再編の形態・学校の位置

- 施設一体型に限定すると城崎中の使用が前提となる。港小・港中間の距離であれば移動は大きな課題にならないため、施設分離型も選択肢として残すべき。
- 統合先が港地域になるとの噂があるが、説明会で「現時点で決定したものはない」と示され安心した。

■ 防災・安全

- 能登半島地震で津波が最大 11.3m に達した地点があったことを踏まえ、日本海沿岸でも大きな津波が起こり得る。防災面の不安を考慮し、子どもの命が失われることが決してないようにしてほしい。

■ 部活動

- 中学校の部活動の選択肢が少ないため、城崎中・港中の生徒が互いの部活動を選べるようにしてはどうか（教員の対応や移動の課題はあると思う）。
- 港東小・港西小の統合時には中学校の在り方も議論され、部活動の選択肢の少なさが再編理由の一つだった。部活動の地域移行も含めて説明してほしい。

■ こども園

- 港こども園と城崎こども園の 2 園は今後不要になると思われる。学校再編と合わせ、こども園の今後の方針を説明してほしい。
- 港小学校が現在地でなくなった場合、港認定こども園はどうなるのか。

■ 将来の再編・通学

- 城崎・港の再編後の話として北中学校への再編を望む意見もある。現状では通学バスの手配が難しく、バス＋電車＋徒歩になる場合もあるなど、通学の課題について具体例を示して理解を得られるよう説明してほしい。

■ 情報提供・周知

- 保護者以外の住民が、再編についてどこまで情報を得ているのか気になる。

以上